

平成27年 第2回 愛別町総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成27年12月10日(木)
開会 午後4時00分 閉会 午後4時47分
2. 場 所 愛別町総合センター 1階 長寿の間
3. 出席者 愛 別 町 町 長 前佛 秀幸
愛別町教育委員会 委員長 中田 栄一
委 員 長屋 修二
委 員 森定 典子
委 員 三嶋 健嗣
教育長 大山 一成

事務局関係
総務企画課長 石田 光幸
総務企画課長補佐 小森 優
総務企画課総務係長 上北 泰志
教育委員会教育次長 谷田 道明
教育委員会主幹 高田 直樹
教育委員会学校教育係長 三浦 英和
4. 協議事項 (1) 平成28年度教育予算(事業)等について
(2) その他
5. 議事経過の内容 別紙のとおり

発言者	発言概要
石田課長	ただ今から、第2回愛別町総合教育会議を開催いたします。開会に当たり、町長からご挨拶をいただきます。
前佛町長	大変お忙しい中、愛別町総合教育会議に、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 新しくできた総合教育会議、2回目でございますが、行政と教育執行側と連携を深めて愛別町の子どものためにより良い教育環境を作り、しっかりと育てていく、このような目的で開催させていただいております。 今日は、皆様のご意見をいただきながら、新年度に向かってまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。
石田課長	続きまして、議事録署名委員の指名について、町長からお願い致します。
前佛町長	森定委員、三嶋委員にお願い致します。
石田課長	続いて、協議事項について、谷田次長から説明致します。
谷田次長	(平成28年度教育予算(事業)等について、資料に基づき説明) 以上、平成28年度予算に関わらない部分もありますが、これに基づきまして懇談いただければと思います。
石田課長	それでは、町長の進行で進めていただきたいと思います。
前佛町長	事務局から、来年度に向けて、また、将来に向けての説明をさせていただきました。委員の皆さんからご意見等をいただければと思っております。まず、新規事業の中で、何かございませんか。
中田委員長	小学校校舎の改修について、単年度で、できるだけ子ども達に負担のかからないような改修をしてほしいと思います。体育館に仮設の教室を作ることになっていますが、体育館ではない方法はないのか、子ども達が楽しく学校生活を送れるような環境を作っていかなければならないと思っています。予算の関係があつてなかなか難しい面もあるかと思いますが。
前佛町長	予算的なことで、財源が確保できるかどうか、今調べているところです。補助金をもらった後の財源について、ローンが組めるかどうか。後年度7割補填される交付税算入という形のローンがあるんですが、その補填されるローンが組めない場合は借りた分全額返済していかなければならない。今、公共施設の整備では、先に公民館を予定して考えています。役場庁舎も半分は震度6でつぶれるということですが、町の考え方としては、役場庁舎の改修を後にしてでも、地域の集会施設を優先していくという考え方で進んでいます。そのようなことで、公共施設の整備は順次進めていきたい。特に、子どもの教育という部分がありますので、財源確保に向けてできるかどうか、しっかりと詰めているところで、ご理解をいただきたいと思います。

長屋委員	委員長からも話しがあったとおり、暖房やトイレの関係など、すぐにやらなければならないことがあるかと思いますが、やはり、勉強する場が、子ども達、先生方も含めて授業がやりにくいという環境は何とか避ける方法でやらないと、その時の子ども達がかわいそうだと思います。体育館が使えなくなったり、色々な弊害が出てくると思います。いずれ改修しなければならないことはわかっていますが、何か良い方法がないのか、検討していただければと思います。
前佛町長	将来負担を残さないようにしたい。考え方として、財源が確保できて1年が可能であれば、来年焦ってやらないで、再来年1年でということもあるかもしれませんが。全額借りて、全額返すという起債は組みたくないのです。ご承知の通り、過疎債という起債は、例えば1億円借りたら、7千万円は交付税で補填してくれます。実質3割の持ち出しという起債です。決して、子ども達のことを考えていないわけではなくて、財政的なことがありますして、今、町の貯金を全部使ってでもやるのか、過疎債を充てられるようにやるのか、鋭意努力しておりますが、将来負担を残さないということで考えております。
中田委員長	財源的な部分は、なるべく町の負担が少なくなるような方法でやった方が良くと思いますが、仮設の校舎を使用する期間をなるべく短くするとか、居心地を良くする、そういうことを考えていかないと、先生も非常にやりにくいといったことも出てくると思います。実際に体育館で授業をする期間は、6ヶ月か7ヶ月ほどだと思いますが、その期間を、やはり楽しく、変な負担がかからないようなやり方で実施していかなければならないと思います。
前佛町長	もし、2年間にわたるとしても、予算が2年間ですが、実際の工期は圧縮して実質1年という手法も出てきますし、色々なことを検討して、できるだけ仮校舎で子ども達が使う期間を短くなるように、また、仮校舎としても、子ども達に不都合にならない仮校舎という対策も取っていきたいと思います。間違いなく1年でやれる方が良いでしょうし、2年にわたると余計に経費がかかる可能性もあるかと思いますが、そういう部分も考えながら進めていきたいと思います。
中田委員長	2年にまたがっても1年でやっても、校舎を改修する工事期間はかわらないんですよね。
前佛町長	2年間にわたってやると、2学年にわたって工事改修中の子ども達がいるという見方もあり、そういうことで心配されているということも想定されます。まだまだ決定ではありませんので、調査検討させてください。 公民館の耐震診断の結果は、どの施設も不十分ですが、順番に改修していきたいと考えています。公民館、地域の集会施設、コミュニティ施設を改修するという姿勢で進めたいと思いますが、どの施設を優先するかについては、これから詰めていきたいと思っております。金富

	<p>分館のトイレの改修については、地域の集会施設を直していくということを来年スタートしますので、この中に含めて入れさせていただきます。</p> <p>それでは、次の項目に進んでよろしいですか。</p> <p>継続事業で特徴的な事業ということで、皆さんからご意見ございましたら、お願い致します。</p>
中田委員長	<p>教職員の研修事業について、子ども達がいかに理解して次のステップに進んでいくのかということに関しては、やはり先生方の能力によると思いますので、数多くの研修に行けるような体制を作ってほしいということと、今年も秋田の方に行ったようですが、色々な事例を実際に自分で体験できるような研修をお願いしたいと思います。</p> <p>愛別に来たばかりの先生に配慮するなど、なるべく愛別の子も達に効果があるような研修に、お金を惜しまないようにお願いしたいと思います。</p>
前佛町長	<p>一般的に6年で異動ですので、その期間の前半の部分で研修に行ってくださいことで、愛別町の町費を使っての効果を発現することになるかと思っていますので、この部分には十分留意をしていただきたいと思います。そして、教育長から話を聞いておりますが、学業成績については、愛別町は上がっているということで、全体的な底上げをすることで、効果が見えてきているということです。先生方の研修は大事で、先生方自らが、子ども達の学力を全体的に底上げするんだという気持ちの醸成につながっているのかなという気がしています。何よりも人材がまちづくりですから、これからも先生方の研修事業については、予算付けをしてまいりたいと思います。</p>
中田委員長	<p>学力テストの結果は、中央部8町の中でも良い方だと思っています。</p>
大山教育長	<p>小学校は学力テストくらいでないと比較できませんが、小学校は中の上くらいにあると思っています。中学校は、中央部8町全てが参加していないときもありますが、それぞれ学年ごとに3年生は年に4回くらい、1、2年生は2～3回ありますので、これを見ますと、1年生の時は良いのですが、3年生になるとかなり下がってくるというのが実態です。1年生の時は、5科目平均でトップクラスにいますが、3年生になると、7、8番手になるという状況ですから、小学校、中学校が1校ずつになったことによって、競争意識が働かなくなってきたのか、同じメンバーの中であきらめの心が働いているのか、わかりませんが、そのような状況です。</p>
前佛町長	<p>新聞の記事等を見ますと、小学生は、ランクが良いですが、中学生になると都市部よりもだんだん下がっています。都市部は、進学に向けての競争心があると思います。町村において、良い面は、子ども達が和気あいあい、スポーツもそうですが、順位を付けないという雰囲気があり、勉強もみんなという感じで競争心が生まれにくいところが、</p>


	<p>中学生になって全体的に下がってくるという心配をしています。今、近隣町と同じように、塾の先生に来てもらっていますが、このようなことも充実していく必要があるかと思います。また、学校の先生方にも、競争心を付けるということに少し頭に入れておもしろいと思います。それで、小学生は、ある程度順位が変わらないでいきますが、中学生になると、勉強によって順番が変わります。でも、今、1校1校だから、順位が変わらないというあきらめがある。でも、中学校が一番順位が変わる時期ですから、競争というのはある意味大事だと思っています。町としても、色んな条件整備を応援しますので、子ども達にそういう気持ちを少し持たせるようなことをおもしろいと思います。</p>
中田委員長	<p>学校の授業以外に、天神クラブとか色々やっているんで、そういう部分に予算を付けて、愛別独自のやり方で、子ども達がより良く理解できるようにやっていければと思います。旭川に近いところでは、塾に行く子が多いかもしれないが。</p>
前佛町長	<p>やはり、都市部の方は、子どもの競争心よりも、親の競争心の方が強いのではないだろうか。</p>
中田委員長	<p>家庭で勉強する習慣をつけるということも大事だと思います。</p>
前佛町長	<p>今は、パソコン、スマートフォン、ゲームなどで、家庭学習の習慣化が一番難しい時期ですね。 ほかに、継続事業の中で何かございませんか。 なければ、次の項目で、人材確保関係で、皆さんからご意見あればお願い致します。</p>
中田委員長	<p>やはり、人材確保というのは難しい。特別支援教育関係は、それなりに対応できる体制を作っていかなければならないし、幼児センターの保育士も足りない。それぞれの働き方もあると思いますが、正職員を増やすなど、仕事がしやすいような状況を作っていくことが必要だと思いますが、資格がないとなかなか難しい面もあります。</p>
前佛町長	<p>保育士の関係については、公立の方に職を求める人が少なくなってきました。子育て支援の充実という国の政策に合わせて、私立における対応が良くなってきているのではないかと思います。過去には、私立が厳しいから、公立を受けるということがありましたが、今は新卒も私立を選ぶ時代になってきているため、なかなか人材がいません。それで、町としては、大手や私立が採用試験を行う前に試験を実施したいと考えています。遅くなってくると、民間の就職が決まったり、内定が出たりして、非常に探しづらい。子ども達のために何とかしていきたい。また、子ども達の安全を期して、有資格者等、必要な人員を充てていきたいと思っています。 特別支援教育支援員は、やはり子ども達の教育を受ける権利は保障されているということですので、特別支援教育の教育についていけるか</p>

	<p>ということもありますが、まず入ってみてということから、体制をとっていきます。</p> <p>学童保育指導員は、勤務時間が短いため賃金も少額で確保しにくいですが、何とか探さないとなりません。勤務時間の短い部分を別な勤務とくっつけてある程度勤務時間を確保する方法もこれから考えていかなければならないと思っています。</p>
中田委員長	<p>学童保育指導員だけだと難しいですね。</p> <p>時間が短いので、やはり、何かと組み合わせて、この時間はこういう仕事ですということにしていかなければならない。</p>
前佛町長	<p>学童保育が、幼児センターの中にあれば良いが、学童保育のとらえ方が、学校教育ではなく社会教育分野という考え方もあります。児童館など、子どもを預かるという流れでできていますが、愛別町は独自の形で行っても良いのかなという気がしています。</p>
中田委員長	<p>鷹栖町の北野の方では、何か昔から自主的にやっていたようなことはなかったですか。</p>
三浦係長	<p>NPO 法人がやっています。</p>
中田委員長	<p>そういうことができるような環境を作っていくことも大事ではないかと思えます。</p>
前佛町長	<p>このことについては、また色々なアイデアがあればお聞かせいただきたいと思えます。</p>
中田委員長	<p>やはり、こういうことが充実していけば、愛別町に住んでも良いなと思えます。</p>
前佛町長	<p>保育士と指導員の関係は、これからも常に探していかなければならないと思っています。皆様のご協力をお願いしたいと思えます。</p> <p>最後になりますが、今後の課題について、皆さんからありましたら、お願い致します。</p>
中田委員長	<p>ICT関係は、これからどこも導入するようになるのですか。</p>
大山教育長	<p>現状、大きな学校では、全児童生徒がタブレット端末を持っていると実態にはないと思っています。小規模の小学校、複式では有用だということも聞きますが、中央部では、タブレット端末を全員に入れているところはなく、先生と、学級の班の数という形で入れていると思えます。</p> <p>電子黒板と実物投影機については、入れているところは結構あるかと思えます。当町は、実物投影機は、小学校は全学年使えるような体制になっています。中学校は、台数は数台ありますが、古くなって使えるのが1台ということで、ゆくゆくは揃えていかなければならないと思っています。小学校の先生方は、教科書を映すなど頻繁に使う場面がありますが、中学校は実物投影機よりは先生が書くことが多く、揃えていくことについては学校側とも協議をしながらやっていかなければならないと思っています。しかし、間違いなくICTについては、</p>

	<p>進んでいくと思いますので、あまり乗り遅れないように、機器の整備はしていかなければならないと思っています。</p>
中田委員長	<p>ICTは、使って教えるのは先生なので、先生がきちんと使えなかったら困りますね。</p>
前佛町長	<p>先生自身がその機器を使って、どうカリキュラムを組むかは先生の裁量ですから、先生が使えないと値がないですね。</p> <p>今、ICT教育導入推進協議会で進めて頂いていますので、先生も効率上がり、子ども達につながっていくとなれば、手当していきたいと思っています。機器は高いものですし、5～6年で更新になり、投資することで効果が現れれば良いが、無駄になったというようなことがないように、慎重に判断していきたいと思っています。</p> <p>スクールバスの委託化も考えていかないと、運転手さんが本当に確保できません。直営ですと、運転手さんが事故を起こした場合、町の責任で補償という形になりますが、会社委託になりますと、会社としての保険、責任になってきますから、年齢制限についても幅広く持てるのではないかという気がします。</p>
中田委員長	<p>愛別ハイヤーがなくなっても困るので、そういった意味でも、色々委託をして、会社も残れるということで、お互いに考えていく必要もあります。</p>
前佛町長	<p>今、デマンドバスの運行もお願いしていますが、ハイヤーだけの業務では成り立たないのかと心配をしているところです。あとは、ハイヤーさんで人的なものがまかなえるか、或いはハイヤーさん以外のところで車を扱うような会社でやれるところがあるか、将来的なことも考えなければならぬと思います。</p>
長屋委員	<p>この委託業務を行う場合に、免許もそうですし、営業する場合の資格も持っていて、法律に則った形で進めないといけないので、ただ、やってくれるだけでという話にはならないと思います。</p>
中田委員長	<p>建設関係も仕事がなく、昨年の3分の2しか仕事がないということで、今回、除雪も一緒にやるみたいですが、何らかの仕事を民間にまわしてやってもらうという方法もあると思います。</p>
前佛町長	<p>建設事業は、人口減少時代に入ってきて、今までの建物の容積はいらぬということ、町村ではこれから大きなものは出てこないと思います。ですから、維持補修しながら、それ以上余っている容積については見直していくという形になっていくと思います。</p> <p>国営農地整備も入ってきますが、240億円と事業規模が大きく、請負に入ることは難しいので、本当にこれからは、何億何十億といった大きな事業は見込めません。</p> <p>あといかがでしょう。皆さんから全体を通してどうですか。なければ閉じさせていただいてよろしいですか。</p>
一同	<p>(はいの声)</p>

前佛町長	色んなご意見をいただきました。これを参考にしながら、来年、そして将来に向けて、町としても一緒に取り組んでまいりたいと思っています。よろしくお願い致します。
石田課長	それでは、以上をもちまして第2回愛別町総合教育会議を終了致します。大変ありがとうございました。

議事録署名委員

森 定 典 子 

議事録署名委員

三 嶋 健 嗣 